

令和元年度 認知症講演会

参加費無料
定員200名

～共につくろう若年認知症の方が就労を可能にするための安来^{まち}づくり～

認知症は誰にでも起こりうる病気です。今回は若年認知症の人の思いを知り、若年認知症の人とともに認知症の人にやさしい地域づくりについて一緒に考えてみましょう。

丹野智文（たんのともふみ）氏

おれんじドア 代表

認知症の人と家族の会 宮城県支部 会員

日本認知症本人ワーキンググループ メンバー

現在 45 歳。39 歳の時にアルツハイマー型認知症と診断され、現在もネットヨタ仙台に在職中。営業から事務職へ配置転換し働き続けながら講演活動をしている。

4 年前、認知症当事者が同じ悩みを抱える当事者の話を聞く、認知症当事者のための相談窓口「おれんじドア」を開設。



藤田和子（ふじたかずこ）氏

1961 年、鳥取市生まれ。看護師として総合病院に 7 年間勤務。義父母を 10 年余り介護した後、個人病院に復職し 8 年間勤務。45 歳の時に若年性アルツハイマー病の疑いありと診断され翌年退職。2010 年から認知症になっても自分らしく暮らせる社会をつくるための活動を始め、鳥取市で「公民館サロン」「本人ミーティング」を 2 ヶ月に一度開催。2019 年 4 月からは、月に一度、認知症当事者が認知症当事者の暮らしの相談を受ける

「おれんじドアとっとり」を始めている。



日時 令和元年 9 月 21 日（土） 午後 1 時 30 分～3 時 45 分（開場 1 時～）

会場 安来商工会議所 「大ホール」
安来市安来町 878-8 TEL0854-22-2380

内容

(1) 報告：市内事業所における若年認知症実態調査結果

報告者 安来市地域包括支援センター

(2) 講話：それぞれの経験談

当事者 丹野 智文氏（おれんじドア代表）

当事者 藤田 和子氏（日本認知症本人ワーキンググループ代表理事）

(3) トークセッション：今後に向けて考える

当事者：丹野 智文氏（おれんじドア代表）

当事者：藤田 和子氏（日本認知症本人ワーキンググループ代表理事）

主催 安来市・安来市地域包括支援センター

共催 安来市医師会・安来市認知症対策推進会議・安来第一病院 地域型認知症疾患医療センター

後援 安来商工会議所・安来市商工会・安来市社会福祉協議会・安来市民生委員児童委員協議会
安来市在宅医療支援センター・安来市健康推進会議

お問い合わせ先 安来市地域包括支援センター ☎ 0854-37-1540

（担当：血海・三浦）